

令和6年3月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和6年3月分について、輸出額は「自動車の部分品」「ポンプ及び遠心分離機」などが増加したことから、対前年同月比7.7%の増加となった。また、輸入額は「自動車」などが増加したものの、「液化天然ガス」「原粗油」「衣類及び同附属品」などが減少したことから、同11.0%の減少となった。その結果、差引額は8,604億円（同25.0%の増加）となった。

差引額が**過去最高**を記録、**平成23年6月以降154ヵ月（12年10ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位**

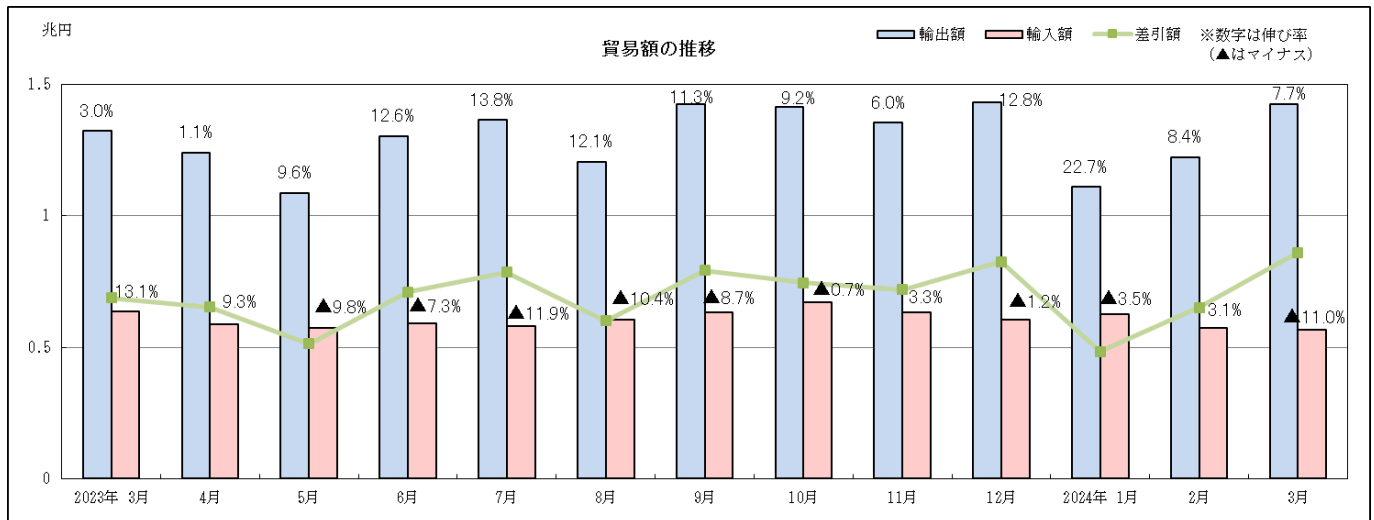
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,257億円	+7.7%	5,653億円	▲11.0%	★ 8,604億円	+25.0%
	29ヵ月連続の増加		2ヵ月ぶりの減少		11ヵ月連続の増加	
	順位 過去 3 位	3 月として 1 位	順位 過去 23 位	3 月として 2 位	順位 過去 1 位	3 月として 1 位
管内（名港シェア）	2兆2,229億円（64.1%）		1兆0,789億円（52.4%）		1兆1,439億円（—）	
全国（名港シェア）	9兆4,696億円（15.1%）		9兆1,031億円（6.2%）		3,665億円（—）	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出増加	(1) 自動車の部分品	1,869億円	+12.6%	+1.6	7ヵ月連続の増加
	(2) ポンプ及び遠心分離機 ★	508億円	+36.6%	+1.0	7ヵ月連続の増加
輸入減少	(1) 自動車	110億円	13倍	+1.6	7ヵ月連続の増加
	(1) 液化天然ガス	409億円	▲37.3%	▲3.8	12ヵ月連続の減少
	(2) 原粗油	336億円	▲19.8%	▲1.3	4ヵ月連続の減少
	(3) 衣類及び同附属品	324億円	▲18.7%	▲1.2	2ヵ月ぶりの減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。